

## 農作物のダイオキシン類調査結果について

## 1 趣旨

県では地元田子町からの要望を受け、平成15年度より田子町の主要な農作物である水稻、枝豆、にんにくの安全性を確認し、風評被害を未然に防止するため、それぞれ3地点で収穫されたものについて、ダイオキシン類調査を実施しています。

## 2 調査結果

平成15年度以降の調査結果は次のとおりであり、これまで国（農林水産省）が全国で実施して公表した調査結果などと比較して、十分に低い値でした。

## (1) 水稻

(単位:pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成20年度	平成19年度	平成15～18年度
熊原川上流域	0.0000033	0.0000011	0～0.0000090
不法投棄現場付近	0.0000043	0.0000020	0～0.0000180
熊原川下流域	0.0000025	0.0000074	0～0.000020

※ 実測濃度が定量下限未満の値は、0として算出している(以下同様。)

## (2) 枝豆

(単位:pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成20年度	平成19年度	平成15～18年度
熊原川上流域	0.00078	0.00015	0～0.00079
不法投棄現場付近	0.0026	0.0021	0～0.00034
熊原川下流域	0.00058	0.00089	0～0.00080

## (3) にんにく

(単位:pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成20年度	平成19年度	平成15～18年度
熊原川上流域	0.0011	0.00016	0～0.014
不法投棄現場付近	0.000020	0.00071	0～0.000071
熊原川下流域	0.00089	0.00019	0～0.00051

## 【参考】

公表されている国（農林水産省）が実施した農作物のダイオキシン類調査結果

(単位:pg-TEQ/g-wet)

作物名	濃度範囲 (平均値)
水稻	0.000029～0.011 (0.0022)
枝豆	0.000098～0.0040 (0.0020)

※ 水稻 平成17年度畜産物及び農作物に係るダイオキシン類実態調査(21検体)  
 枝豆 平成14年度農用地土壌及び農作物に係るダイオキシン類実態調査(2検体)  
 にんにく なし